

令和5年度中小企業診断士第2次試験 事例Ⅳ

第1問(配点20点)
(設問1)

	(a)	(b)
① 売上高営業利益率		11.59 (%)
② 有形固定資産回転率		71.90 (回)
③ 自己資本比率		77.56 (%)

(設問2)

売	上	高	営	業	利	益	率	が	悪	化	し	た	原	因	は	、	売	上	高
の	減	少	と	、	原	材	料	等	の	仕	入	原	価	上	昇	の	影	響	が
出	始	め	、	基	礎	研	究	費	の	負	担	も	大	き	く	人	件	費	削
減	を	行	わ	な	い	方	針	が	利	幅	を	低	下	さ	せ	た	た	め	。

第2問(配点30点)
(設問1)

(1)	63.31	%
(2)	1,141,590	千円
(3)	3,111,447	千円
(4)	14.73	%

(設問2)

(1)

製品の販売を中止すべきで (ある ・ ない)。

X	製	品	の	貢	献	利	益	は	8	,000	万	円	の	黒	字	の	た	め	。
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(2)

20,000	万円
--------	----

(計算過程) X製品の貢献利益: $20,000 - 15,000 \times 80\% = 8,000$ 万円
X製品の販売を中止した場合に失われる8,000万円の貢献利益をY製品の限界利益でカバーする必要がある。
Y製品の限界利益率: $4,000 \div 10,000 = 0.4$ Y製品の売上高増加額: $8,000 \div 0.4 = 20,000$ 万円

(設問3)

妥	当	で	は	な	い	。	売	上	高	を	基	準	に	共	通	費	を	製	品
別	に	配	賦	す	る	と	、	売	上	高	を	伸	ば	し	た	製	品	に	共
通	費	が	多	く	配	賦	さ	れ	る	こ	と	と	な	り	、	そ	の	製	品
販	売	へ	の	イ	ン	セ	ン	テ	ィ	ブ	に	な	ら	な	い	と	考	え	る

受 験 番 号											
2	3	0					-				

総合計採点欄			
			点

第3問(配点30点)

(設問1)

(1)

2,585 万円

(計算過程)

正味現在価値： $-11,000$ (初年度期首) $+2,520$ (初年度末) $\times 0.926$
 $+3,320$ (2～4年度末) $\times (3.312-0.926)+4,890$ (5年度末) $\times 0.681$
 $=2,585.13 \rightarrow 2,585$ 万円

(2)

$\Delta 5,702$ 万円

(3)

99 万円

投資は行うべきで (ある) ・ ない)。

(設問2)

(1)

620 万円

(計算過程) (1)10,000個の正味現在価値： $-11,000$ (2年度期首) $\times 0.926+2,685$ (2年度末)
 $\times 0.857+3,485$ (3～4年度末) $\times (3.312-1.783)+5,055$ (5年度末) $\times 0.681=886.065$ 万円
(2)5,000個の正味現在価値はマイナスであり投資しない→正味現在価値はゼロ
(3)正味現在価値の期待値： $886.065 \times 0.7+0 \times 0.3=620.2455 \rightarrow 620$ 万円

(2)

当該設備投資を2年度期首に実行すべきであ
る。正味現在価値の期待値が521万円だけ大
きく有利であるため。

第4問(配点20点)

(設問1)

O E M 生産を委託することにより設備投資負
担がなく、生産コストを削減し、在庫を持つ
リスクを低減できる。

(設問2)

労働力を維持する方針及び自社生産のための
設備投資により、労働装備率を高め、生産性
の向上を期待できる。

第3問

(設問1) (1)の計算過程の詳細

初年度期首 : -11,000万円

初年度末 : $[10,000 \times (1 - 0.4) - 2,200] \times (1 - 30\%) + 11,000 \div 5 \text{年} \times 30\% - 800 = 2,520 \text{万円}$ 2~4年度末 : $[10,000 \times (1 - 0.4) - 2,200] \times (1 - 30\%) + 11,000 \div 5 \text{年} \times 30\% = 3,320 \text{万円}$ 5年度末 : $[10,000 \times (1 - 0.4) - 2,200 + 1,100] \times (1 - 30\%) + 11,000 \div 5 \text{年} \times 30\% + 800 = 4,890 \text{万円}$ 正味現在価値 : $-11,000 + 2,520 \times 0.926 + 3,320 \times (3.312 - 0.926) + 4,890 \times 0.681 = 2,585.13 \rightarrow 2,585 \text{万円}$

(設問2) の計算過程の詳細

(1)10,000個の場合

2年度期首 : -11,000万円

2年度末 : $[10,000 \times (1 - 0.4) - 2,200] \times (1 - 30\%) + 11,000 \div 4 \text{年} \times 30\% - 800 = 2,685 \text{万円}$ 3~4年度末 : $[10,000 \times (1 - 0.4) - 2,200] \times (1 - 30\%) + 11,000 \div 4 \text{年} \times 30\% = 3,485 \text{万円}$ 5年度末 : $[10,000 \times (1 - 0.4) - 2,200 + 1,100] \times (1 - 30\%) + 11,000 \div 4 \text{年} \times 30\% + 800 = 5,055 \text{万円}$ 正味現在価値 : $-11,000 \times 0.926 + 2,685 \times 0.857 + 3,485 \times (3.312 - 1.783) + 5,055 \times 0.681 = 886.065 \text{万円}$

(2)5,000個の場合

正味現在価値はマイナスであり投資しない→正味現在価値はゼロ

(3)正味現在価値の期待値

 $886.065 \times 0.7 + 0 \times 0.3 = 620.2455 \rightarrow 620 \text{万円}$